

物品購入仕様書

1 適用

本仕様書は、「総合肺機能検査装置 購入」に適用する。

2 目的

この契約は、発注者（以下「甲」という。）が、総合肺検査装置を受注者（以下「乙」という。）から購入することを目的とする。

3 購入物品仕様

別紙のとおり

4 履行場所

東京都町田市旭町2丁目15番41号 町田市民病院

5 履行期限

2022年 1月 31日

6 納品方法

- (1) 納品日時は、甲・乙協議して決めるものとする。ただし、土曜、日曜祝祭日を除く日とする。
- (2) 納品時間は、8時30分から17時までとする。
- (3) 納品は、履行場所の甲が指定した場所とする。

7 契約代金の支払い

甲は、納入品をもって検査を行いその結果合格と認めたあと、乙の請求に基づき代金を支払うものとする。

8 安全対策等

乙は、本契約を履行するにあたり関係法令を遵守し、甲及び第三者に損害を及ぼさないよう安全性の確保に十分留意し、損害を及ぼした場合の一切の費用は乙の責任において速やかに対処すること。

9 定めのない事項

本仕様に明記されていない事項であっても、その性質上当然に必要なものは全て乙の負担で実施すること。

その他、本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて甲・乙が協議して定めるものとする。

1 購入物品 総合肺検査装置

2 数 量 一式

3 入札の参加は、以下の要件を満たすこと。

(1) ハード構成

- ①対角 17 インチ以上、解像度 1280×1024 ドット以上表示可能なカラーディスプレイを有していること。
- ②CPU は Intel 社製 Core i3 相当以上の機能・性能を有すること。
- ③500GB 以上の物理的容量を有するハードディスクを装備していること。
- ④OS は、Windows10 日本語版相当以上の機能を有すること。
- ⑤DVD スーパーマルチドライブを装備していること。
- ⑥酸素療法患者の為に、測定回路内の酸素量を、事前に設定し自動的に充填出来る機能を有していること。
- ⑦感染対策として気量測定回路ハッチ内に自動照射による紫外線殺菌装置を内蔵していること。
- ⑧高圧ガスの安全対策・安全機構を有していること。
- ⑨バルーンヘッド部の呼吸ブロックを容易に分解、洗浄できること。
- ⑩三方コックが容易に分解、洗浄できること。

(2) 測定・操作

- ①ボリューム検出方式は、ローリングシール型スパイロメータであること。
- ②測定前のキャリブレーションは不要であること。
- ③以下の測定の数値表示ができること。
VC/MVV/MV/FVC/FRC/DLCO/CV/N2W. 0/BMR
- ④以下の測定の波形表示ができること。
VC/MVV/MV/FVC/FRC/DLCO/CV/N2W. 0/BMR
- ⑤以下の測定において、測定後の波形の手動解析をおこなうことができること。
VC/FVC/FRC/CV
- ⑥呼吸気量分画 (VC) 、最大換気量 (MVV) 、安静換気量 (MV) を測定できること。
また、気量の測定は、ボリュームを直接測定できること。ボリュームの測定範囲は 0 ~10L 以上であること。
- ⑦強制呼出曲線 (FVC) 及びフローボリューム曲線 (F-V) を測定できること。フローの測定範囲は 0~14L/S 以上であること。
- ⑧手動式のリモートスイッチ (測定の準備、開始・終了) を有していること。
- ⑨汎用キーボードにショートカットキーを有し、すべての測定をキーボードのみで行う事ができること。
- ⑩測定終了時、「洗い出し ID」ボタンで呼吸管の洗い出しを行い、自動的に患者情

報入力画面に戻ること。

- ⑪機能的残気量 (FRC) を He 閉鎖法、及び N2 洗い出し法で測定できること。
- ⑫肺拡散能 (DLCO) を 1 回呼吸法で測定できること。
- ⑬肺拡散能 (DLCO) 測定時、測定開始・呼出・測定終了のみのボタン操作で測定できること。
- ⑭肺拡散能 (DLCO) 測定時、貧血症状のある場合には Hb 補正を行うことができる。
- ⑮クロージングボリウム (CV) 、及び N2 洗い出し (N2W.0) を測定できること。
- ⑯基礎代謝率 (BMR) が測定できること。
- ⑰モニタ表示において波形は ATPS、数値は BTPS で表示すること。
- ⑱三方コックの角度調整をすることができ、臥位での測定が容易にできること。また、三方コックを用いて肺気量分画 (VC) 測定ができること。

(3) データ保存

- ①各測定データは、5 回分本体のデータベースに保存できること。
- ②保存されているデータを CSV 出力することができること。
- ③送信・書込ボタンでデータ送信とデータベース保存が同時にできること。
- ④現有機器とのデータの互換性があること。
- ⑤現有機器のデータコンバートを行うこと。

(4) その他の機能、性能

- ①精度管理用アプリケーションソフトを有していること。
- ②呼吸機能情報管理システムより患者属性の受信ができること。
- ③測定終了後、呼吸機能情報管理システムへ測定データを送信できること。
- ④既存の生理検査システム (PRIMEVITA : 日本光電工業製) と接続連携できること。